

## 仮設住宅などでのディアコニア報告書

2016年12月20日 Café de FUKUSHIMA 石川和宏

\*報告期間:11月17日～11月26日(2016年第11次)

◇11月17日(木) 生鮮食品等仕入 横浜発 荷物搬入

◇11月18日(金) 仕込み

### **【1】寺内第2 仮設住宅(南相馬市・小高区民) 11月19日(土)**

南相馬市小高区からの避難者が住む仮設住宅で、昨年2月に続き2回目の訪問  
建設戸数40戸で現在は20世帯が入居中。

南相馬市社協に仲介していただいた。

奉仕者 石川和宏

### 支援の結果

支援者を除く参加者6名(内男性2名) 総参加者7名 庖丁研ぎ7世帯 8本

### 皆さまからお聴きしたこと

#### 《経験したこと》

- ・避難時の食事は一個だった。手を洗うことも出来なかった。
- ・食パン一枚にイチゴジャムをつけて一食分だった。  
戦争の時も配給で苦労したが。
- ・戦争当時よりひどかった。
- ・高校の体育館に避難した。着の身着のまま。お金は数千円しか持っていなかった。
- ・下着の替えがなくて、洗えなかった。
- ・知らない人に山形まで連れて行ってもらった。



#### 《原発のこと・故郷のこと》

- ・ハクビシンに家を荒らされた。雨樋を登るし、瓦の隙間から家に入り込む。オシッコの臭いが酷い。

#### 《困っていること》

- ・買い物。
- ・前は野菜を作って売っていたが、買わなければならない。高い。
- ・今の(仮設の)暮らしは、色々あるが、5年も居たので馴れた。
- ・小高には帰れないが、この仮設は来年3月までだ。みんなどうするのか…。
- ・仮設では、隣の隣の物音も響く。

#### 《帰還について》

- ・家のリフォームが出来たら帰る。
- ・仮設を出ると言われても行く所がない。
- ・小高に帰っても、(交通の便が悪いので)車に乗れなくなったら終わりだ。
- ・小高でも山の方は水道でなく井戸水。大丈夫だとは言われているのだが…。
- ・ヘルパーさんに来てもらえないので、風呂に入れない。
- ・年寄りが暮らせるようにならないとダメだ。

- ・百姓が出来ない。使える機械もない。暮らせない。
- ・どうせ死ぬなら、ここがいい。

《Café de FUKUSHIMA のイベントについて》

- ・久しぶりにボランティアが来た。
- ・チラシに「ゲラゲラと笑って下さい」と書いてあったので来た。仮設では、こんなに大きい声では笑えない。
- ・来年3月には出ろと言われていたので、仮設では会えない。

### ミネラルウォーター配布

参加者全員に世帯人数分のミネラルウォーター(2リットルペットボトル6本入り箱)をお届けした(実際の配達日は26日)。高齢者にとって、「重たい物の買い物は大変なので助かる」と言われている。

この仮設の水道水水源は飯舘村にある真野ダムです。

真野ダム湖底堆積土セシウム濃度9万ベクレル/kg(環境省)。放射性物質汚染対処特措法による「指定廃棄物」の基準(8,000ベクレル/kg)の約10倍。8,000ベクレルの焼却灰を扱う作業者は、年間1mSv被曝する(環境省)。

### 【2】小池長沼仮設住宅(南相馬市・小高区民)11月20日(日)

南相馬市小高区からの避難者が住む仮設住宅で、今年6月に続き8回目の訪問  
建設戸数100戸で現在は65世帯が入居中。

自治会長の楽伸一郎さんから「いつでも来てください。助かります。」と要請されている。

奉仕者 石川和宏

#### 支援の結果

支援者を除く参加者13名(内男性3名) 総参加者14名  
庖丁研ぎ6世帯6本

#### 皆さまからお聴きしたこと

- ・小高に帰っても何もすることがない。
- (イベント中に参加者のご家族に異変があり、皆さんが対応したため、お話し合いの時間は取れなかった。)



### 【3】小池原畑第2仮設住宅(南相馬市・小高区民)11月21日(月)

南相馬市小高区からの避難者が住む仮設住宅で、今年2月に続き3回目の訪問  
建設戸数130戸で現在は50世帯が入居中。

南相馬市社協に仲介していただいた。

奉仕者 石川和宏

#### 支援の結果

支援者を除く参加者18名(内男性5名) 総参加者19名 庖丁研ぎ10世帯11本

#### 皆さまからお聴きしたこと

《原発のこと・故郷のこと》

- ・部落が崩壊した。家族が崩壊した。
- ・ハクビシンの被害を受け、家は壊した。
- ・小高には、その後1回も帰っていない。車がないし、友だちも住んでいない。
- ・家は津波には遭わなかったが、地震で雨漏りがするようになった。避難指示で直しに戻れず。自衛隊がブルー



シートと砂袋で防水してくれたが、半年も経つと風でダメになった。家はすぐ傷む。

- ・人が住んでいないので、イノシシの被害、雑草が生い茂っている。動物が家の中にいる。

《困っていること》

- ・小高の自宅に通うのに時間が掛かりすぎる。

《帰還について》

- ・小高には、スーパーがない。
- ・除染が必要。0.23  $\mu$  Sv以下に。
- ・除染なんか何回やっても同じだ。
- ・来年1月に引っ越します。これで10回目です。今まで居た近所の人や遠くなり、親戚とも遠くなって大変です。
- ・帰りません。
- ・除染は1回しかしていない。周囲はフレコンバックの山だ。
- ・帰っても娯楽がない。
- ・小高に行っても空き家ばかりだ。63戸の部落で10人しか戻っていない。

《Café de FUKUSHIMA のイベントについて》

- ・皆さんと一緒に話が出来てとても楽しかった。食事がとても美味しかったです。
- ・料理が美味しかったです。
- ・この日を楽しみにしておりました。有り難うございました。
- ・支援していただいて有り難うございました。
- ・手作りのお菓子、豚汁をととても美味しく戴きました。住民みんなと会話が出来れば、みんなで楽しく過ごせる。
- ・よく笑いました。また御願います。庖丁を研いで戴くので、とても助かっています。



### ミネラルウォーター全戸配布

この仮設では、入居中の全世帯分のミネラルウォーター(2リットルペットボトル 50 ケース 300 本)をお届けした。不在者でも分かるように箱にはCafé de FUKUSHIMAのシールを貼った。翌日、自治会長さんから配布が終わったことの報告とお礼の電話があった。また、購入する値段と配達でプレスコキクチ(当地のスーパー)の店長さんに御協力頂いた。

◇11月22日(火) 福島県庁サマリタンハウス来訪対応

### **【4】鹿島西町復興住宅(南相馬市・南相馬市民)11月23日(水)**

津波後の新たな区画整理により、住宅が再建できない地域住民に割り当てられた復興住宅で、2年前に完成した最初の復興住宅。鹿島区の方が多い。初訪問。イベントがあるのは初めてとのこと。

3階建てのアパートで戸数が30戸、空き家はないとのこと。南相馬市の鹿島区役所の直ぐ近くにある。南相馬市社協に仲介していただいた。社協も仮設から出た人たちのケアを目指しており、紹介を受けた。

奉仕者 石川和宏 石川千鶴子

### 支援の結果

支援者を除く参加者10名(内男性3名) 奉仕者などを含め総計12名 庖丁研ぎ6世帯6本

## 皆さまからお聴きしたこと

### 《経験したこと》

- ・東京の娘の所に100日いた。支援物資は何ももらえなかった。その後仮設住宅に入った。
- ・ここに住む人は、全員が家を津波で流された。津波が夜だったら死んでいた。
- ・部落では、50人が流された。不明者は20人いる。浪江で指輪が発見された人もいる。
- ・お隣は、4人が流された。

### 《原発のこと・故郷のこと》

- ・以前の土地は、買い上げられ、今は田んぼになっている。家は建てられない。
- ・新潟県燕市に3ヶ月避難していた。その後仮設住宅へ。

### 《困っていること》

- ・2階の子どもがうるさくて困っています。
- ・機密性が高く、玄関のドアがとても重い。風が強い日は特に。真ん中の部屋は昼でも暗い。玄関は真っ暗だ。

### 《Café de FUKUSHIMA のイベントについて》

- ・とても楽しい。震災以来のものを食べさせて頂き、楽しい時間を過ごしました。これからもよろしくお願いします。
- ・食事がとても美味しく大変良かったです。またよろしくお願いします。
- ・みんなとの会話がよかった。また来て欲しい。
- ・とても楽しくして頂きました。時々来て頂けたら嬉しい。
- ・みんなで食べるのは震災以来
- ・ボランティアは来ない。



## **【5】南相馬市飯館自治会(南相馬市・飯館村民) 11月24日(木)**

隔月の訪問を要請されていて、今年9月に続き5回目。会場は、原町区の生涯学習センター。

全村避難の飯館村民で、南相馬市に避難し、みなし仮設などに住んでおられる方々の自治会(会長北原昇さん)からの招請

奉仕者 佐々木節子姉(シンガポール) 石川和宏 石川千鶴子

## **支援の結果**

支援者を除く参加者29名(内男性8名)奉仕者などを含め総計42名

## 皆さまからお聴きしたこと

- ・自宅の除染は2度目
- ・2度目をしてくれない。
- ・除染の効果が信用できないので、帰らないが、家の掃除には時々戻る。2時間以上いると、のどや目が痛くなる。
- ・2度除染した後でも46 $\mu$ Svとか55 $\mu$ Svの場所がある。庭の水溜まりになる所。
- ・自宅は3反歩(3,000 $\text{m}^2$ )、田畑は4町歩(40,000 $\text{m}^2$ )あるが、線量が高く住めない。
- ・畑を借りて野菜を作っている。仕事があることは有り難い。
- ・ボランティアに生まれて初めてマニキュアをしてもらった。うれしい。最高。冥土の土産になる。



## 【6】大鹿仮設住宅(南相馬市・小高区民)11月25日(金)

南相馬市小高区からの避難者が住む仮設住宅で、昨年10月に続き2回目の訪問  
建設戸数118戸に80世帯が住んでいる。

奉仕者 佐々木節子姉(シンガポールから) 石川和宏 石川千鶴子

### 支援の結果

支援者を除く参加者28名(内男性8名) 奉仕者などを含め総計35名 庖丁研ぎ16世帯18本  
鈴木幸子自治会長が電話で参加を勧誘していただき、それで時間を追って参加者が増えた。感謝。

### 皆さまからお聴きしたこと

#### 《原発のこと・故郷のこと》

・水や自然はお金では買えない宝物でした。元に戻して欲しい。

#### 《困っていること》

- ・家族バラバラになった。
- ・部屋が狭いので、子供たちが会いに来られない。
- ・4畳半でストレスが溜まります。
- ・県会議員の皆さん、現地を見に来て下さい。
- ・小高で就労が決まっていた。3年で賠償は打ち切られ、生活する上で年齢的にも大変だ。小高の方と同じくらい精神的には苦痛です。
- ・仮設に若い人がいない。
- ・友人が復興住宅に入ったが、上の階の音が響いて気になりますとのこと。

#### 《帰還について》

- ・小高区へ帰るが、隣近所の人が帰ってくるのを待っている。
- ・小高に早く帰りたいが、家を未だ建てることもできない。早くして欲しい。
- ・一人暮らしなので、近所の状況を見て帰る。
- ・小高に、スーパー・薬局がない。
- ・自宅が直ったら帰る。
- ・交通の便が悪い。
- ・小高で衣食住が出来るようになれば帰る。
- ・息子と孫は相馬市に新築して生活している。
- ・高齢者が多くなったので、医療の充実に力を入れて欲しい。



#### 《Café de FUKUSHIMA のイベントについて》

- ・ご飯が美味しかった。腹話術が良かった。
- ・みんなで話したり、顔を見られるのが楽しい。忙しい所、本当に有り難うございます。
- ・なかなか仮設でも顔を合わせることがなかったので、うれしかった。
- ・人との付き合いが出来た。話が出来た。これからも皆様のためによろしく。
- ・楽しかった。腹話術も可愛かった。豚汁・ご飯・お菓



子も美味しく戴きました。

- ビデオを見て大笑いした。楽しかった。これからも来て欲しい。
- 友だちにさそわれて来た。面白いビデオを見て久しぶりに大笑いしました。また是非来てください。
- 仮設の方々と交流が出来た。なかなかお会いできない小高に帰った人とも会えた。
- 交流の場を持って戴く度に、皆さんの元気な顔を見られることがうれしい。支援する人は大変でしょうが、今後も続けて欲しい。
- 被災者の心に寄り添っていることに感動致しました。またお会いできることを望んでいます。
- 住民の方たちのお話が聞けた。余り会えない人たちの顔が見られた。
- 久しぶりに大笑いした。
- 皆さんと会って会話が出来楽しかった。
- 国・県・市の近況を教えてください。
- 地元のことを理解している。
- イベントがあると元気になります。いつも夢と希望を有り難う。
- 楽しかったです。大笑いしたのは久しぶりです。
- 今回のようなイベント参加は初めてなので、これからもあると良いと思います。
- 笑いの後の食事、バラエティーで山盛り・手作りご馳走様でした。

## 【8】まとめ

今回出会った方々 104名(内男性 29名)(参加者総数 129名) 庖丁研ぎ 45世帯 49本

2016年累計 訪問した仮設住宅など 76ヶ所 出会いがあった被災者の方 1,402名

今回は、南相馬市・小高区民の仮設住宅4ヶ所、復興住宅、飯館村民自治会を訪問(支援)しました。

避難指示の解除で元の家に戻る、復興住宅が完成し引っ越し、帰還を諦めて別の場所に家を建てるなど、仮設から退居する人も多くなりつつあるが、Café de FUKUSHIMAのイベントは前回よりも参加者が増えることも珍しくありません。

今回皆さんに提供したのは、DVD上映(綾小路きみまろライブ)・昼食・自家焙煎コーヒー(ケーキ・お菓子付き)・庖丁研ぎ

石川千鶴子がいるときは腹話術。腹話術の人形「言ちゃん」は、人気上昇し、写真を撮るときは引っ張りだこになる。孫・ひ孫と重なるらしい。





← 誰かが言ちゃんにこう  
いう格好をさせ、皆さんを  
びっくりさせていた

初めて研いだ珍しい鎌 →  
山林で枝払いなどに使うもの



今回も小規模仮設等を訪問しましたが、多く被災者にお会いできました。「ボランティアが来るのは初めて」とか「久しぶり」と聞きました。大きい仮設でも最近では支援がめっきり減ったようです。今回出会った避難者の内、最も早い仮設入居期限は来年3月末です。線量が下がりず帰還するか迷っている方、住宅の再建が進まず焦っている方、原発事故後5年8ヶ月です。皆さんが安心して平穏に暮らせる日はいつになるのでしょうか。今回もたくさんの証言を伺い記録しました。

《期間中の献金・献品》

今回もまた改革派中部中会の有志から手作りのクッキーを大量に頂き、被災者の皆さんに差し上げました。その他、改革派中部中会や港南台キリスト教会の皆様からお菓子や手芸用布地などを戴きました。皆様(諸教会)から、連日たくさんの荷物(段ボールで10箱以上)が届きました。布地・雑巾・食品(港南台キリスト教会・犬山教会・高蔵寺教会・太田教会・名古屋岩の上教会・名古屋市緑区の会)クリスマスプレゼント(手作り写真立て・タオル)(春日井教会)

年末に行く仮設でクリスマスプレゼントなどに用いさせていただきます。支援先各仮設でこれらを手渡す毎に、諸教会諸兄弟姉から支援物資は、被災者の皆様に今もなお覚えており、皆様と連帯・共生することの証しであるとお伝えしています。そう話す時、皆さんの表情が明るくなるのが見取れます。もし私たちが被災者だったら、きっとそうなるでしょう。

皆さんから献金もありました。被災者が「忘れられた存在」ではないことを知っていただくために、皆様にこのような方々がいるということを伝えています。



《地震と津波+大雪》

11月22日に大きな地震があり、サマリタンハウスのある山元町の沿岸部には「避難指示」が出ました。山元町は3.11の時、震度5強、津波高さ8m~21m、死者636人(全人口18,000人)、全壊家屋2,217戸でした。サマリタンハウスは海岸から2,000mですが、約1.5m(床上1m)の津波でした。前回これを経験したお隣は、準備してあった荷物を車に積み込みさっさと避難されていました。

メールなどで皆様からたくさんのお見舞いを戴きました。有り難うございました。忘却力が大きい私たちへの神様からの警告だと思います。

大雪(警報)もありました。躊躇したあげく冬用タイヤに取り替えず、失敗したと思いましたが、イベントには支障が

ありませんでした。イベント会場に到着後降り始め、帰る時分に雪は解けていました。

《改めて原発について思うこと》

「福島原発事故 廃炉・賠償 20 兆円へ 従来想定 of 2 倍」(2016/11/28 毎日新聞)

これも最終的には税金や電気料金になって、国民の負担になる。

国債費を除く国家予算 2016 年度歳出は 73 兆円なので、おおよそ国の支出の3ヶ月分に相当する。税収入約 58 兆円と比較してすれば、約 4 ヶ月分。

しかし、それでも被害者の心が癒されるわけではなく、自然も家族もコミュニティも元に戻ることはない。

「水と自然は、お金では買えない宝物でした。元に戻して欲しい。」今回聞いたこの被災者の悲痛な声は、福島県民など何十万人の声でもあります。果たして誰の耳に届くのでしょうか。

今後の支援予定:

**【12月】** 12月22日～31日(2016年第12次)(5会場・7仮設住宅)

◇12月24日(土) 牛河内第3仮設住宅(南相馬市・小高区民)(4回目)

◇12月26日(月) 南一丁目仮設住宅(郡山市・川内村民)(5回目)

◇12月27日(火) 若宮前仮設住宅(郡山市・川内村民)(5回目) 稲川原仮設住宅(同)(5回目)

26日・27日は、改革派中部中会から託された「お米」を被災者の皆さんにプレゼントします。

中部中会から二宮創牧師(夫妻)(改革派太田教会・岐阜県美濃加茂市)が同行されます。

◇12月29日(木) 牛越第1仮設住宅(南相馬市・小高区民)(4回目) 牛越第2仮設住宅(同)(4回目)

◇12月30日(金) 小池原畑第2仮設住宅(南相馬市・小高区民)(4回目)

29日・30日は、名古屋岩の上教会(参加:相馬伸郎牧師夫妻・岡本直人・岡本真理)と合同開催

**【1月】** 2017年1月18日～1月28日(2017年第1次)(7ヶ所)

◇1月20日(金) 小高東町復興住宅(2回目)(南相馬市・小高区民)

◇1月21日(土) 社協いきいきデイサービス(初回)(南相馬市の仮設・借り上げ住宅の方々)

◇1月23日(月) 吉倉公務員宿舎飯館自治会:大人向け(初回)(福島市・飯館村民)

◇1月23日(月) 吉倉公務員宿舎飯館自治会:子ども向け(初回)(福島市・飯館村の子供たち)

◇1月25日(水) 二本松市にある浪江町民の仮設住宅

◇1月26日(木) 社協ニコニコ元気塾(8回目)(南相馬市・南相馬市民)

◇1月27日(金) 飯館村南相馬自治会(南相馬市・飯館村民)